

地震活動期の日本列島と 首都直下型大地震に備える

1995年兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）以降、2011年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）を挟み2年に1回の頻度で内陸直下大地震が発生し、日本列島は明らかに地震活動期に入っています。千葉県を含む南関東も江戸の時代から直下型大地震を経験し大きな被害を受けてきました。繰り返された過去の地震から震源の種類・地震の規模と発生間隔・災害の程度を学び、首都直下で起こる大地震の切迫性を知るとともに、減災ための準備を始めましょう。

開催日 12月2日(土) 13:00 ~ 14:30

受付 開講時間の30分前から

会場 リソル生命の森 フォレストアカデミー
※駐車場に限りがございます。ご来場の際は相乗り又は日本メディカルトレーニングセンターの駐車場をご利用ください。

受講料 リソル生命の森各種会員様 **無料**
★今回は一般の方も特別に無料です

定員 30名 ※定員になり次第締切とさせていただきます。
早めにお申込みください。

お申込 下記へお電話にてお申込みください。



千葉大学大学院理学研究院地球科学研究部門 教授

宮内 崇裕 (みやうち たかひろ)



昭和33年
昭和56年3月
昭和62年3月
平成元年3月～7年3月
平成7年4月～18年9月
平成18年10月～

平成12年2月～
平成24年12月～27年3月

群馬県生まれ
東北大学理学部地学科卒
東京都立大学大学院理学研究科修了（理学博士）
千葉大学助手（理学部地学科）
千葉大学助教授（理学部地学科）
千葉大学大学院教授
（自然科学研究科，理学研究科を経て現在理学研究院）
文部科学省地震調査推進本部専門委員
原子力規制庁有識者会議メンバー